

姉妹都市派遣事業を終えて

富士見台中学校

宮下 葉美

私は、八月一日から九日までコロラドスプリングス市に行ってきました。初めての海外でとても緊張しました。日本から約一万キロ離れていると分かった時はびっくりしました。

ホームステイ先では、色々な場所にお出かけをしました。そこで日本にはないたくさんを知ることができました。出かけた中で、日本とは少し違うなと感じたところがいくつかありました。

一つ目は、ショッピングモールに電車が走っていたことです。ちゃんと人も乗っていてすごいなと思いました。あと、意外に長さがあったびっくりしました。

二つ目は、プールの深さです。日本だと小さい子どもでも足がつけるくらいの深さですが、行ったプールでは、2、3メートルくらいあるのではないかと思うくらい深さがありおぼれそうになりました。

三つ目は、コロラドの人たちは、自分の国を愛しているのだなと思いました。街などで、コロラドのロゴや国旗が書いてある服を着ていたり、ホストファミリーもそうでしたが、コロラドのフットボールのチームの絵が入った服や帽子を着けていたり、毛布などもそのフットボールチームのものでした。それを見て、コロラドの人は、自分の国を愛していると思いました。日本はそんなに日本の特徴のある服などを着ないなと思いました。自分の国を好きなのはとても良いことだと思いました。

四つ目は、百貨店の品数の多さです。ほぼスーパーみたいでした。とても大きいポテトチップスや、2リットル位ある飲み物、グミ、色々な物のバリエーションが沢山ありました。百円では買えないようなものがありとてもびっくりしました。

ホストファミリーと過ごした時間はとても楽しく充実していて、時間が早く過ぎました。ホストファミリーの子どもたちとスライム作りをしたり、鬼ごっこを朝晩ずっとしたり、ショッピングやプールでたくさんの思い出を作ることが出来ました。うまく言葉が伝わらなかった時もありましたが、身振り、手振り、単語などを頑張って使えば伝わるのだと感じました。

この九日間でたくさんの事、人に出会えて本当に良かったです。自分に足りなかったことに気付いたり、自分ができることに気付いたりして本当に良い経験になりました。